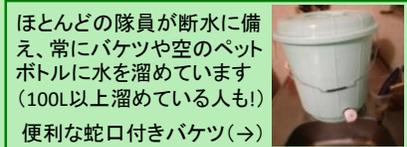


Muli uli? こんにちは。日本はすっかり寒くなってきたそうですね。こちらは何もしくなくても汗が噴き出してくるような、暑い日々が続いています。先日、今季初めてのまとまった雨が降り、間もなく雨季に入ります。雨季の手前、今が一年で最も電気も水も、食べ物さえも不足する時期で、私の任地は電気は1日10時間程度しか使えず、毎日数時間～半日断水が起こっています。(他の地域では数日間断水が継続する、水道から泥水が出てくる、ということもあるようなので私の環境は恵まれている方です)皆さん、ぜひ真夏にエアコン・扇風機・冷蔵庫なし、そして満足にシャワーも浴びれずトイレも流せない生活を想像してみてください。この時期、隊員たちは苦労しながらも、このような生活を工夫して楽しんでいます。



ほとんどの隊員が断水に備え、常にバケツや空のペットボトルに水を溜めています(100L以上溜めている人も!)  
便利な蛇口付きバケツ(→)

また、先月お伝えしました吸血鬼騒動は更にもう一件の事件が起き、残念ながら数名の隊員が任地を変更せざるを得なくなりました。現在では軍が出動し、一連の騒動も徐々に終結に向かっていくように感じます。

さて、そんなマラウイからある女性グループの取り組みと、観光地について紹介します。

### 女性の収入向上支援

先日、北部カタベイ県のチフィーラという地域へコミュニティ開発、H28-1 中川隊員の活動見学に行ってきました。中川隊員は村民の収入向上のために、ある女性グループへの支援を行っています。

このグループは、アフリカの伝統布“チテンジ”を使った商品販売をしています。中川隊員のグループへの主な関わりは、商品の品質向上のための品質チェック、新商品の提案、マーケット拡大のためのサポートです。国民の約8割が農業に従事し現金収入を得ることが難しいこの国で、貧困改善を目指し、天候等に左右されない安定した収入を得られることを目標として活動しています。

また、最近ではマラウイだけではなく、日本での商品販売も始めました。アフリカらしい可愛い商品が多いので、興味がある方はぜひFacebookで“Luso la manja”で調べてみてくださいね!



足踏みミンシを使用し、商品を作成中。商品の一例。赤ちゃん用スタイ。



女性グループ Luso la manja

2003年現リーダーの女性が失職したことをきっかけに、商品作りを始める。始めは全て手縫いで行っていたが、当時他国ボランティアの支援もあり、ようやく1台のミンシを購入。裁縫やミンシは初心者であったが、夫から教わりながら技術を習得。現在ではメンバーも8人となり、各々がミンシを持てるまでになった。現在彼女たちは、援助に頼らず売り上げだけで自分たちのお店をオープンしようと奮闘中。自給自足の生活で現金収入を得るのが難しい中、彼女たちの売り上げが家計を支えている。



### マラウイの観光地

有名なガイドブック「地球の歩き方」にさえ載っていない知名度の低いマラウイ。そんな国にも世界遺産に登録されている場所が2カ所もあり、そして他にもいくつか観光地があるので紹介します。

#### リビングストニア (Livingstonia)

北部、カロンガ県にある、18世紀後半にマラウイで布教活動していた宣教師集団によって山の上に作られた町。

岸壁にロッジが建っており、マラウイ湖が望める景色はとても良い。リビングストニアの町には町の名前の元となったリビングストンの博物館や、ステンドグラスが美しい協会がある。

#### リウオンデ国立公園 (Liwonde National Park)

マラウイの数ある国立公園の1つ。中でも自然動物の種類が最も多いことで知られており、近郊の宿泊施設が催行するサファリが可能。カバやワニ、象、インパラ、イボイノシシ、バッファロー、クドウ、ウォーターバック、ヒヒ、鳥類が見られる。(残念ながらマラウイではどこの国立公園でも肉食獣が見られることは極めて稀)



私が今まで訪れたマラウイの観光地の中で、満足度NO.1の場所です!

#### ムランジェ山 (Mt. Mulanje)

南部のムランジェ県とパロンベ県の間位置し、ハイキングや登山のスポットとして人気。標高3002m。これはマラウイ国内及びアフリカ中南部地域における最高峰。現地の人には「天空の孤島」と呼ばれている。



### マラウイ湖 世界遺産 ①

#### ケープマクレア Cape Maclear

マラウイが誇るマラウイ湖。面積はアフリカ大陸で第3位、深さは第2位。(面積は琵琶湖の約44倍も!!) このマラウイ湖の一部が1984年に淡水湖で世界で初めて世界自然遺産に登録。この地域の湖の水は澄んでいてとても綺麗。固有種も多く、ダイビングやシュノーケリング等、水辺のアクティビティが充実。しかし、残念ながら住血吸虫という原虫がいるため、湖に入ることは推奨されていない。



ケープマクレア以外にも、以下の場所で綺麗なマラウイ湖を見ることができます。  
北部: カタベイ (Nkhata Bay)、リコマ島 (Likoma Island)  
中部: サリマ (Salima)、カタベイ (Nkhata Bay)  
南部: モンキーベイ (Monkey Bay)

### 世界遺産 ② 壁画

#### チョンゴニロックアート (Chongoni Rock Art)

マラウイ中部デッサ県にある岩絵地域。127か所の壁画が点在している。2006年にユネスコ世界文化遺産に登録。がっかり世界遺産として知られているが、隊員達からはシュールで良い!! となかなか高評価。

赤で描かれた壁画は、石器時代に狩猟族であるピグミー族(小人族)によるもので、白は鉄器時代に、農耕民族であり現在の主要民族 Chewa (Chewa) 族が描いたものと言われている。また、岩絵は2000年前から20世紀に至るまで描き足されていたとのこと。



(→) 赤と白の塗料で描かれた壁画  
赤: 石器時代  
白: 鉄器時代に書かれた物  
保存状態の良い壁画は山を登ったところにあり、景色も良い

先月、私の両親がマラウイに来てくれました! 周辺国と比べマラウイには魅力的な観光地が少ないので満足してもらえたか心配だったのですが、上記の観光地の2カ所を訪れ、また村人達との交流を通して、マラウイとマラウイ人の人柄の良さを感じてもらうことができました。皆さんも機会があればぜひマラウイに遊びに来てください!! Zikomo!! Yewo!! Tionanenge!